

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	仁川町計画 集合住宅-E	階数	地上4F
建設地	西宮市仁川町3丁目195番	構造	RC造
用途地域	第2種低層住居専用地域	平均居住人員	157 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年8月7日
敷地面積	2,281 m <sup>2</sup>	作成者	鶴田
建築面積	1,231 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,362 m <sup>2</sup>	確認者	

外観/バース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値: 100%  
建築物の取組み: 72%  
上記+: 72%  
上記+: 72%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 3.2

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.1

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.9

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 2.9

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 2.8

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
内装材にFを使用することで空気環境に配慮した計画をし、建物外部においては周辺に開放された空間を設けることで地域アメニティ向上に貢献できる計画としている。		
<b>Q1 室内環境</b> 化学汚染物質の使用を抑えることで空気環境に配慮した計画としている。	<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理、設備更新性に配慮している。100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能な計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に開放空間を設けることで地域貢献を図っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネルギー対策等級3相当の計画としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 地球温暖化に配慮した材料を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な駐輪・駐車台数を確保している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 'ライフサイクルCO<sub>2</sub>'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される